

pipaTM next^N

Next system 対応

取扱説明書 / 保証書



nuna[®]

重要！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとして使用することができるベビーシートです。

本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	キャリアハンドル	49
ユーザー登録のお願い	4	キャノピー	50
nunababy.com	4	使いかた	50
チャイルドシートについて	5	エクストラキャノピー (Dream drape™)	51
本製品の重要な情報	6	キャノピーの取り外し、取り付け	53
本製品をチャイルドシートとして使用する	7	ISOFIX ベースシート (別売) による取り付け	55
適合車種一覧	8	nuna PIPA next base (例) の取り付け	55
表記の説明	9	本製品の取り付け (例)	63
本取扱説明書で使用するイラストについて	10	本製品の取り外し (例)	65
その他の表記について	10	nuna PIPA next base (例) の取り外し	66
使用可能なお子さまの範囲	11	3点式シートベルトによる取り付け	68
最初にご確認ください	12	お子さまの乗せかた	76
内容物の確認	12	その他の使いかた	79
各部の名称	13	ベビーキャリアとして使用する	80
自動車に関わる各部の名称	14	ロッキング・チェアとして使用する	82
インファントインサートの使用	15	ベビーカー用のシートとして使用する	84
自動車の座席への取り付けに関して	16	お手入れのしかた	85
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	16	カバー類の取り外し、取り付け	85
i-Size	16	キャノピー	86
本製品を取り付けできない座席	17	インファントインサート	86
3点式シートベルトで固定する場合	21	肩ベルトパッド	86
取扱説明書の携行	22	股ベルトパッド	87
使用上の注意	23	シートカバー	88
緊急時の操作	38	お手入れの方法	90
航空機内での使用	39	カバー類	90
航空機のベルトでの固定のしかた	39	キャノピー・インナークッション	90
基本的な使いかた	42	本体	91
バックルの使いかた	42	ハーネス・ベルト類・受けバックル	
バックルの外しかた	42	・差込みタンク	91
バックルの留めかた	43	ハーネスの取り扱いに関する注意事項	92
ハーネスの長さ調節	44	ISOFIX ベースシートのお手入れ	92
ゆるめかた	44	保管のしかた	93
締めかた	45	廃棄のしかた	93
ハーネスの高さ調節	46	保証書	
インファントインサート	47		
取り外しかた	47		
インナークッション	48		

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



nunababy.com

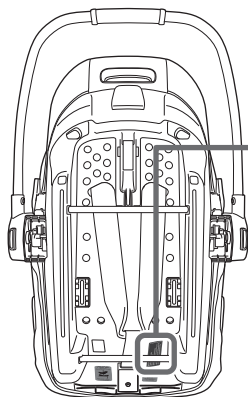
info@nunababy.com
www.nunababy.com

NUNA への製品の登録について

www.nunababy.com より nuna への製品登録が可能です。現在、日本語での表記はございません。

日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



Model No. (モデルナンバー)
Serial No. (シリアル番号)
Manufactured Date (製造年月日)

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に合わない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

本製品の重要な情報

●ベースシートに取り付けての使用と、単体での使用が可能なチャイルドシート

- 1 本製品は、「i-Size」規格に適合したチャイルドシートです。
「i-Size」(Integral Universal ISOFIX Enhanced Child Restraint Systems) は、チャイルドシートのカテゴリーであり、「i-Size 対応」と指定された自動車の座席で使用できるように設計されています。
また、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」との表記がない場合でも、取り付け、使用が可能な場合もあります。「適合車種一覧」(P8 参照) の ISOFIX による取り付けの項目を参照してください。
- 2 本製品の適合する UN Regulation No.129 では、ベースシートに取り付けて使用するチャイルドシートは、汎用 ISOFIX 改良型チャイルドシートに区分されており、ISOFIX によって自動車の座席に固定しなければならないことが規定されています。
- 3 本製品は、「i-Size」規格に適合したチャイルドシートです。UN Regulation No.129 の規定により、自動車のメーカーが自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定している座席での使用が承認されています。
また、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」との表記がない場合でも、使用可能な場合がありますので「適合車種一覧」(P8 参照) をご確認ください。
- 4 本製品は、汎用3点式シートベルトによる固定で利用できるチャイルドシートです。UN Regulation No.129 の規定により、自動車のメーカーが自動車の取扱説明書において記載している「ユニバーサルシートポジション」での使用が認められています。また、取り付け可能な自動車(座席)については「適合車種一覧」(P8 参照)に記載しておりますので、あわせてご参照ください。
- 5 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 6 本製品は、以下の製品 (ISOFIX ベースシート) *と組み合わせて使用することができます。
nuna PIPA next base
nuna BASE next
実際に取り付けてご使用になる場合は、それぞれの取扱説明書を必ずご確認ください。
※最新の ISOFIX ベースシート情報については、当社ホームページでご確認ください。

本製品をチャイルドシートとして使用する

ISOFIX ベースシート（別売）について

本製品を ISOFIX で使用する場合には、本製品に適合する「ISOFIX ベースシート」（P6-6 に記載の ISOFIX ベースシート）を別途お買い求めいただく必要があります。

本書では、ISOFIX での使用に関しては、ISOFIX ベースシートの「nuna PIPA next base」（別売）への取り付けかたを記載しておりますが、ISOFIX ベースシートによって操作方法が異なります。

「nuna PIPA next base」（別売）に取り付けて使用する場合も、他の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用する場合も、必ず、それぞれの取扱説明書を確認するようにしてください。

 **危険** ISOFIX で使用する場合は、本書と併せて ISOFIX ベースシート（別売）の取扱説明書を必ず確認すること。誤った取り付けや、誤った使用方法是、重大な事故の原因となります。

本製品は、以下の方法により、チャイルドシートとして使用することができます。

● ISOFIX ベースシートを使用する

ISOFIX により自動車の座席に固定する場合は、別売の ISOFIX ベースシートを使用してください。

この場合、ISOFIX ベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用します。

本製品が対応する ISOFIX ベースシートは、P6-6 に記載されています。

 **危険** 当社が使用可能と明確に表示していないベースシートに絶対に取り付けしないでください。衝突や急制動の際に、本製品が外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 3 点式シートベルトを使用する

本製品は単体で、自動車の3点式シートベルトで自動車の座席に固定して使用することができます（ただし、適合車種一覧で適合が確認されている場合に限りです）。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



● ISOFIX ベースシート（別売）を使用した場合

ISOFIX ベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用する場合は、「i-Size」規格に対応いたします。

当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に取り付けて使用することができますが、念のため、適合車種一覧をご確認ください。

本製品を取り付ける ISOFIX ベースシートの種類によって、本製品または ISOFIX ベースシートの機能の使用が制限される場合がありますので、ご注意ください。

また、「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも、取付可能な場合がありますので、車種適合一覧にて、適合の可否をご確認ください。

● 3 点式シートベルトを使用した場合

本製品は単体で、自動車の3点式シートベルトで自動車の座席に固定して使用することができます。

ただし、3 点式シートベルトを装備した座席でも取り付けおよび使用を禁止している場合がありますので、車種適合一覧にてご確認ください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を見落とすと、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。



この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

ISO

この表示がある場合は、本製品を ISOFIX ベースシートに取り付けた状態で使用する際の事柄が示されています。

3点式

この表示がある場合は、本製品を単体の状態で使用する際の事柄が示されています。

上図の表示がない場合は、いずれの状態での使用においても共通する事柄を示します。
ただし、重要な事柄が記載されている場合がありますので、上図の表示に関わらず本書に記載のすべての項目をお読みいただき、内容を理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

💡ポイント

「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。

使用可能なお子さまの範囲

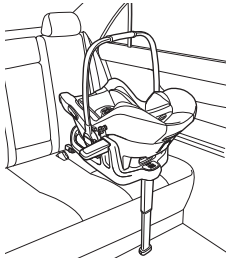
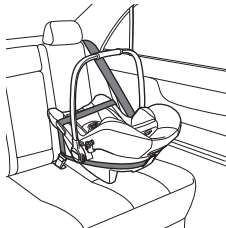
本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、UN Regulation No.129/03 基準に適合したチャイルドシートであり、ISOFIX ベースシートに取り付けて使用する場合と、3 点式シートベルトで固定して使用する場合、それぞれ以下の範囲をお守りください。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

本製品は、**体重 2.5kg 以上の新生児[※]から**ご使用いただけます。

※:ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

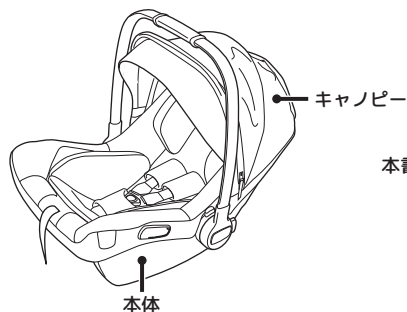
取付方法	使用可能なお子さまの範囲
 ISOFIX 本製品 + ISOFIX ベースシート（別売）で取り付け	身長：40cm ～ 83cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：生後 15 カ月頃まで  インファントインサート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。
 3 点式シートベルト 本製品単体で取り付け	身長：40cm ～ 83cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：生後 15 カ月まで

使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故
⚠危険につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守して
ください。

最初にご確認ください

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



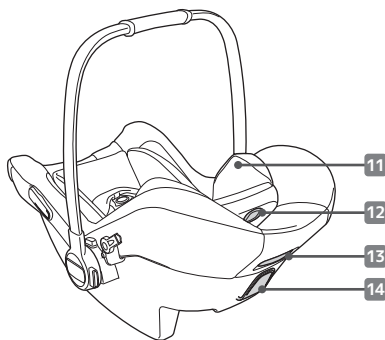
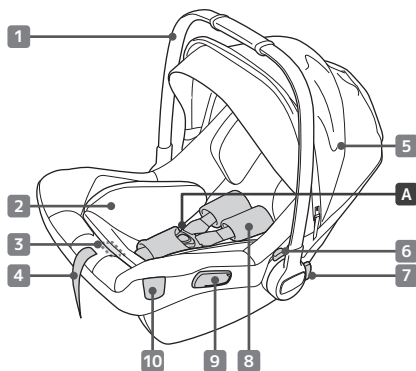
本書（取扱説明書 / 保証書）



ユーザー登録はがき

⚠注意 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子
さまの手の届かない場所に廃棄してください。

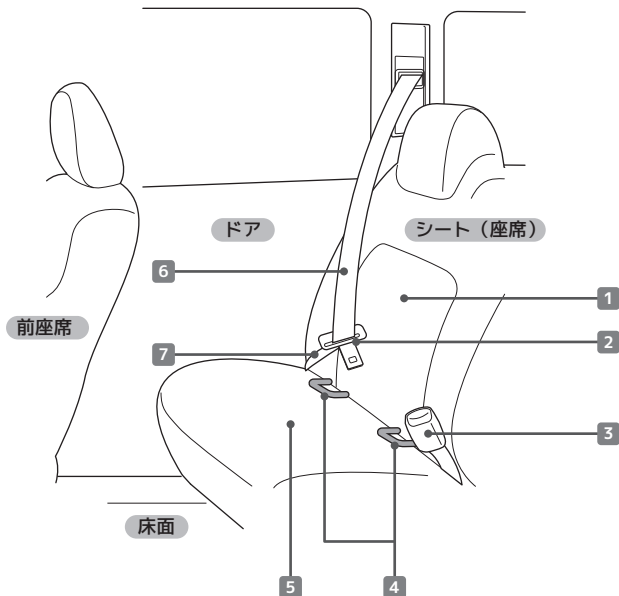
各部の名称



- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① キャリーハンドル | ⑧ 肩ベルトパッド |
| ② インファントインサート | ⑨ 腰ベルトガイド (左右) |
| ③ ベルトアジャスター | ⑩ シェードマグネット |
| ④ アジャスターベルト | ⑪ ヘッドサポート |
| ⑤ キャノピー | ⑫ ヘッドサポートアジャストレバー |
| ⑥ ベビーカーリリースボタン (A) | ⑬ ベビーカーリリースボタン (B) |
| ⑦ ハンドルボタン | ⑭ 肩ベルトガイド |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- 1 背もたれ
- 2 シートベルトタング
- 3 シートベルトバックル
- 4 ISOFIX 固定バー
- 5 座面
- 6 シートベルト (肩ベルト)
- 7 シートベルト (腰ベルト)

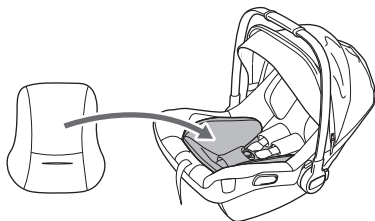


自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

インファントインサートの使用

本製品では、より快適に安全にご使用いただくため、インファントインサートが付属しています。

ご購入時には、インファントインサートは本製品に取り付けられています。



参照 P47-48 >インファントインサート



身長 60cm 程度まで

インファントインサートは、側面からの衝撃に対する保護に効果があります。

身長 60cm 程度まで、または、お子さまが窮屈な状態になるまでは、インファントインサートとインナークッションを取り付けての使用を強くお勧めします。



姿勢が窮屈になったら

お子さまが成長し、インファントインサートを使用すると、お子さまの姿勢が窮屈になってしまう場合には、インファントインサートのインナークッションを取り外して使用することができます。



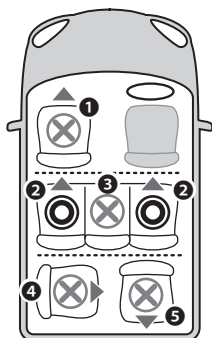
肩が窮屈になったら

お子さまが成長し、インファントインサートを使用すると、お子さまの肩が窮屈になってしまう場合には、すべてのインファントインサートを取り外して使用してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席・・・・・・・・・・取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席・・・・取付使用可能
- ③ 後列中央席・・・・・・・・取付使用不可
- ④ 進行方向横向きの座席・・取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席・取付使用不可



上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。

⚠ 危険 上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあつて、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

i-Size

ISOFIX ベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用する場合、「i-Size」規格に対応いたします。

この場合、当社が特に指定しない限り、自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。

本製品を取り付ける ISOFIX ベースシートの種類によって、本製品または ISOFIX ベースシートの機能の使用が制限される場合がありますので、ご注意ください。

また、「i-Size 対応」と指定されていない自動車、座席でも、取付可能な場合がありますので、車種適合一覧にて、適合の可否をご確認ください。

本製品を取り付けできない座席

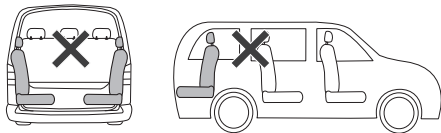
本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、船などの座席でも使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。

また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、本製品に対応する別売の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用する場合、「i-Size」規格に対応しており、自動車の取扱説明書において「i-Size 対応」と指定された座席には取り付けることができます。車種によっては、助手席が「i-Size」に対応している場合もありますが、当社では助手席での使用は推奨しておりません。衝突や急制動の際にダッシュボードにぶつかったりする他、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けてご使用ください。



危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

レーシング用のバケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

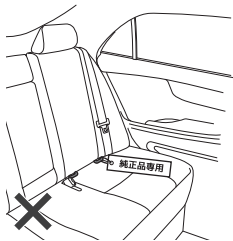
また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



汎用 ISOFIX 固定装置が装備されていない座席

ISO

年式の古い車種に見られる、使用可能なチャイルドシートの機種が指定されている（自動車の取扱説明書において、チャイルドシートのメーカーおよび機種名までが指定されている）、ISOFIX 固定装置（スペシフィックヴェイクル）が装備されている座席では取り付けおよび使用はできません。なお、本製品は一定の条件を満たした場合、3点式シートベルトによる固定も可能です。



チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを使用すると、ドアミラーが見えにくくなったり、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウイinkerなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

座席やドアに干渉する座席

座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けしないでください。



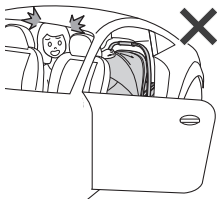
以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、チャイルドシートを使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

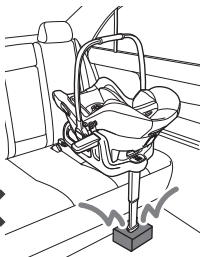
たとえ「i-Size」対応の座席の場合でも、自動車の使用方法によっては、チャイルドシートを取り付けることにより、乗員の脱出などに影響が生じる場合がありますので、同様に確認をするようにしてください。



床面に構造物のある座席 ISO

本製品は、ISOFIX ベースシート[※]で使用する場合、ISOFIX ベースシートのサポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。

※本製品が対応する ISOFIX ベースシートについては P6-6 に記載しています。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

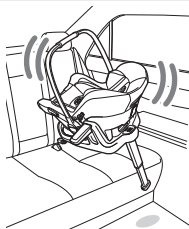




危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

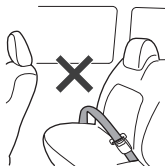
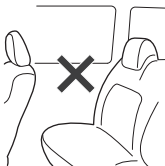
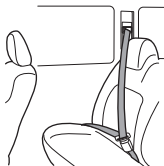
取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付けおよび使用ができない座席では、使用しないでください。



3点式シートベルト以外の座席 3点式

シートベルトでの固定の場合、シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



3 点式シートベルトで固定する場合

本製品を、3点式シートベルトで自動車の座席に固定する場合、あらかじめシートベルトの種類を確認してください。

座席の形状、バックルの位置などの条件を満たしている、近年の国産車においてはほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては、正しく固定することができないことがあります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常は ELR として機能。 シートベルトを最後まで引き出すと、ALR に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	ELR に切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

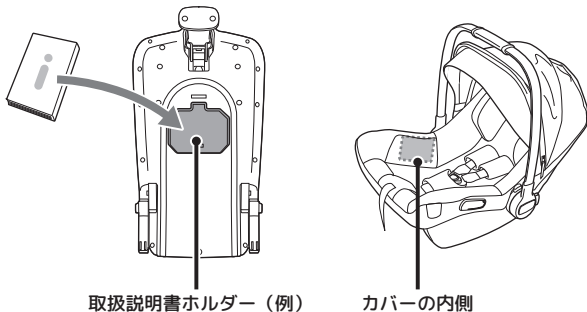
シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります。シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付けおよび使用ができない場合があります。取り付けおよび使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付けおよび使用不可とされている車種、座席では、絶対に取り付けおよび使用をしないでください。



取扱説明書の携行

本取扱説明書は、本製品のカバーの内側に入れるか、または ISOFIX ベースシートの取扱説明書ホルダーに保管して、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

(例) nuna pipa next BASE (別売)



上図は、PIPA next base の例です。ISOFIX ベースシートにより、取扱説明書ホルダーの位置は異なりますので、ISOFIX ベースシートの取扱説明書をご参照ください。

使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

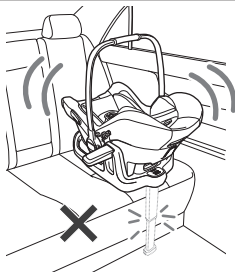


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本取扱説明書や ISOFIX ベースシートの取扱説明書、および本製品、ISOFIX ベースシートの本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

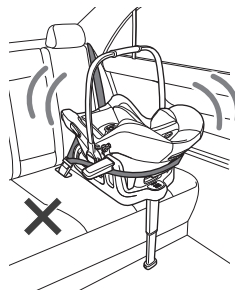


指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。

ISOFIX 固定装置以外の方法で固定しないこと ISO

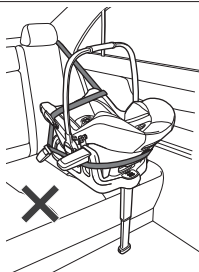
ISOFIX ベースシートで取り付ける場合は、自動車の ISOFIX 固定バーに、ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクタを接続して固定してのみ使用可能です。3 点式シートベルトを含み、それ以外のいかなる方法でも固定することはできません。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

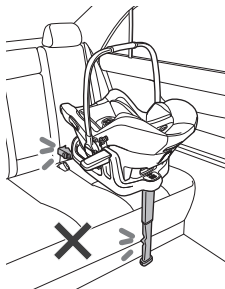
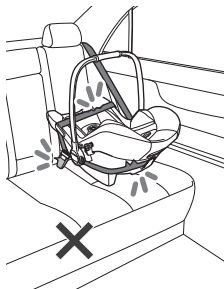
ISOFIX と 3 点式シートベルトの固定を同時に行わないこと
ISOFIX での固定と、3 点式シートベルトでの固定を併用してはいけません。安全性が増すことがないばかりか、本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。



本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

ISOFIX で固定して使用する際には、ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクターや自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。また 3 点式シートベルトで本製品を固定して使用する際には、本製品のハーネス、バックル、腰ベルトガイド、肩ベルトガイド、シートベルト、シートバックルに異常がある場合や、自動車の 3 点式シートベルトに異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。



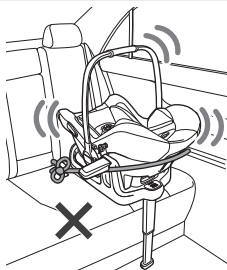


以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

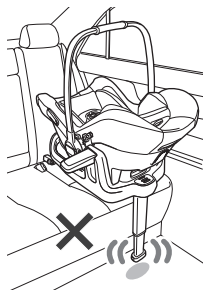
本製品（および ISOFIX ベースシート）は、取扱説明書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



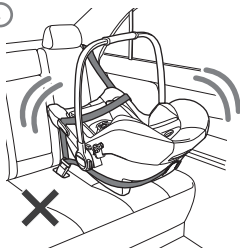
サポートレグの長さを適切に調節して、サポートレグの先端が確実に床面に接するようにすること ISO

「nuna PIPA next base」などの ISOFIX ベースシートで取り付ける場合、ISOFIX ベースシートのサポートレグを正しく使用する必要があります。サポートレグの長さを調節して、自動車の床面に確実に先端が接するようにして使用してください。



3 点式シートベルトでしっかりと締め付けておくこと 3 点式

本製品単体を、3 点式シートベルトで自動車の座席に固定する場合は、ねじれやゆるみがないように、しっかりときつく締め付けておいてください。ゆるみやねじれがあると、衝突や急制動の際に、本製品が外れたり、お子さまに過剰な衝撃が加わるおそれがあります。

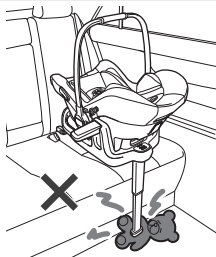




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

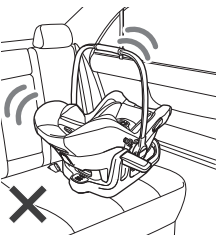
サポートレグの下や周囲に物を置かないこと (ISO)

「nuna PIPA next base」などの ISOFIX ベースシートで固定して使用する場合、サポートレグは、安全上、大変重要な部品です。サポートレグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレグの下に物を置かないでください。また、サポートレグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレグの周囲、特にサポートレグの前に物を置かないようにしてください。



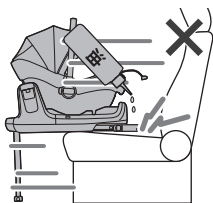
指定以外の向きで自動車の座席に取り付けならびに使用をしないこと

「nuna PIPA next base」などの ISOFIX ベースシートで使用する場合は、ISOFIX ベースシートのサポートレグを前にして自動車の座席に固定し、本製品を ISOFIX ベースシートに固定して使用します。本製品は自動車の進行方向に対して後ろ向きの状態でのみ使用することができます。また、本製品を単体で使用する場合も、自動車の進行方向に対し後ろ向きにして取り付けます。本製品を自動車の進行方向に対して横向きや、前向きに固定された状態で使用してはいけません。



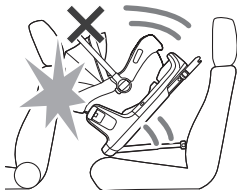
いかなる場合でも注油しないこと

本製品にが安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

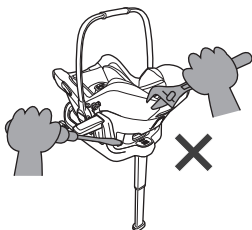




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。



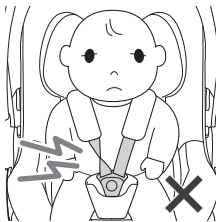
常にハーネスとバックルを正しい状態で使用すること

転落を防ぐため、本製品をチャイルドシートとして使用しない場合でも、お子さまを本製品に乗せる場合は、必ずハーネス、股ベルトを正しい状態で使用し、常にバックルを留めておいてください。



ハーネスを正しく調節し、ハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネスは、高さで長さを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。股ベルトもねじれがないようにしてください。



使用可能な範囲を守ること

本製品が認証を受けた基準により、使用できる条件と本製品の取り付けおよび使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの範囲が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを常に正しく装着すること

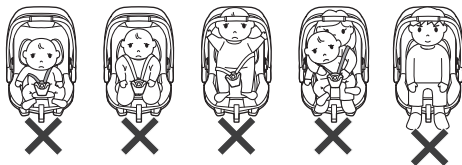
ハーネスは常に適切に調節して使用してください。適宜ハーネスの状態を確認して、適切な状態になっていることを確認してください。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が上にはみ出してしまう場合やお子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまの身体を固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座や中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



お子さまを乗せたまま高所に置かないこと

本製品が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。テーブルの上や椅子の上、階段近く、自動車の屋根の上、買い物カートなど、転落すると危険な場所に、お子さまを乗せたまま本製品を置かないでください。たとえ、ハーネスで正しく固定していたとしても、重大な事故につながります。

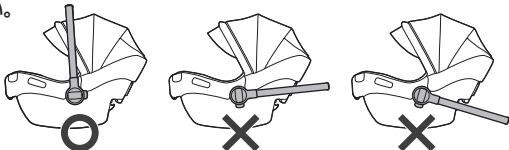




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

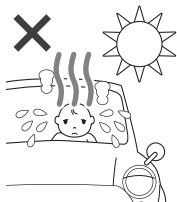
キャリーハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること

お子さまを乗せた状態で、本製品単体を持ち運ぶ場合は、お子さまの身体を正しくハーネスで固定して、キャリーハンドルをキャリーポジションで固定した上で、慎重に持ち運んでください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症、脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

お子さまから目を離さないこと

本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には、常に注意を払ってください。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること
交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。

特に、交通事故の場合は軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、使用しないでください。

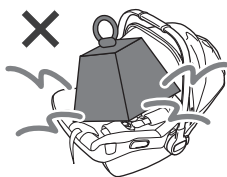
また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

このような場合は、修理ができません、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品（および ISOFIX ベースシート）が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまの身体が確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネスなどを正しく調節してください。

正しく調節できない場合は、お子さまの身体が正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

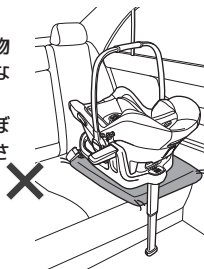
また、衝突や急制動の際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。



チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

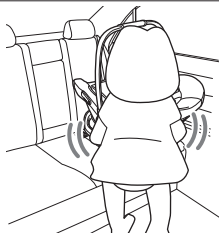
チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

チャイルドシートを正しく取り付け付けた際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

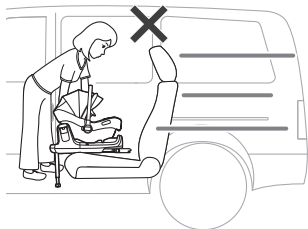
他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

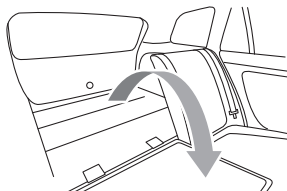
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、ハーネスの装着状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認や操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、取り付け状態を確認してください。

特に、3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認ください。

指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類や、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

カバー類を取り外した状態で使用しないこと

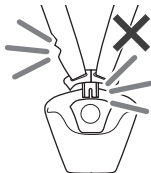
本製品では、お手入れのためにカバー類を取り外すことができます。カバー類は、本製品の安全機能を構成する重要な部品ですので、これらを取り外した状態で使用しないでください。

指定外のインファントインサート、ソフトパッド類を使用しないこと

本製品には、身長 60cm 程度までのお子さまに使用するインファントインサートが付属しています。このインファントインサートは、安全基準を満たした部品ですので、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートに加工をしたりしないでください。

バックル、ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



ハーネス以外の方法でお子さまの身体を固定しないこと

お子さまの身体の固定は、ハーネスによってのみ行うことができます。お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがありますので、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。

また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、本書で示す目的でのみ使用することができます。プースターチェアや就寝用ベッドとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠ 警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を ISOFIX ベースシートに取り付けた状態で、お子さまを乗せたまま持ち上げないこと **ISO**

お子さまが落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。たとえハーネスでお子さまの身体を正しく固定されていたとしても、本製品を ISOFIX ベースシートに取り付けた状態で、お子さまを乗せたまま持ち上げないことでください。



本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合、キャリアハンドルを含め、本製品だけを持ってベビーカー全体を持ち上げてはいけません。ベビーカーを持ち上げる必要があるときは、ベビーカーのフレームの安定する部分をつかんで持ち上げるようにしてください。

ベビーカーに確実に取り付けて使用すること

本製品は、当社が指定するベビーカーのシートとして使用することができます。本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合には、ベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく、確実に取り付けて使用してください。

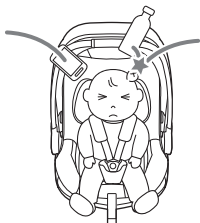
また、本製品は、当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損、落下するおそれがあります。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しないように取り付け

本製品は、自動車のドアや、可動式シートの操作に干渉しない座席に取り付けてください。本製品や自動車が破損したり、キズが付くおそれがあります。



バックル、ハーネスを自動車のドアや座席に挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、座席に挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



お子さまの手足を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際に、お子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席や ISOFIX ベースシート、ベビーカーとの間に手や足、指を挟まないよう注意してください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

ハーネス、キャノピーなどの部分をつかんで本製品を持ち上げないこと
本製品を持ち上げる際に、ハーネス、キャノピー、ソフトパッド、生地部分などをつかんで持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

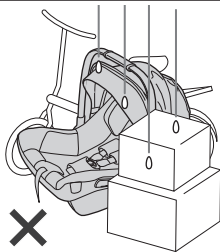
本製品を持つ場合、本製品単体の場合にはキャリーハンドルを持って、本製品を ISOFIX ベースシートに取り付けた状態の場合は、サポートレッグを手で支えながら ISOFIX ベースシート部分を持つようにしてください。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルを清潔に保つこと
ISOFIX ベースシートの ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルに食べかすや、汚れ、ほこりなどが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

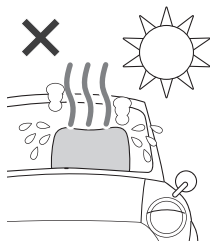
不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天や直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。





注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

ISOFIX ガイドに汚れがないか頻繁に確認すること ISO

汚れ、埃、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の信頼性が低下するおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて、取り外してお手入れしてください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外して車外の安全な場所で適切に保管してください。

同様に ISOFIX ベースシートを使用している場合は、ISOFIX ベースシートも取り外してください。

ご購入前、ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるか、ご確認ください

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に、本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適に使用していただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも 1 時間に 1 度は休憩をとるようにしてください。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品は、ベビーベッドではありません。保護者の方の監視のもとで使用するインファントシートです。長時間の睡眠に使用すると、赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。本製品は、長時間の睡眠には適しませんので、ベビーベッドの代用としては使用しないでください。

疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスに問い合わせください

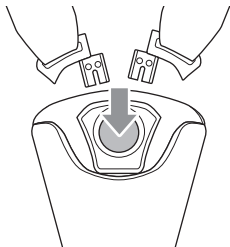
お手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX で固定している場合

- 本製品を ISOFIX ベースシートから取り外す
- ISOFIX ベースシートごと自動車の座席 (ISOFIX 固定バー) から取り外す
- シートベルトカッターでハーネスを切断する

3 点式シートベルトで固定している場合

- シートベルトのバックルを外す
- シートベルトカッターで、シートベルトを切断する
- シートベルトカッターで、ハーネスを切断する

航空機内での使用

本製品は、ベビーシートとして以下の方法で航空機の座席に固定することができますが、当社では航空機の座席への本製品の固定について確認したものであり、航空機内での使用、事故、衝撃に対する安全性に関しての保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

本製品の機内への持ち込みおよび使用の可否などについては、航空会社にお問い合わせください。

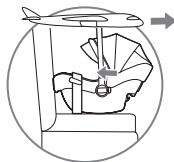
ほとんどの航空機では、2点式シートベルト(ラップベルト)が使用されています。航空機の座席に使用する場合のみ、2点式ベルト(ラップベルト)で固定します。自動車に取り付けて、チャイルドシートとして使用する場合、絶対に2点式ベルト(ラップベルト)の状態では固定しないでください。

エアバッグが装備された座席では使用できません。



危険

航空機の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を後ろ向きに固定して使用します。それ以外の向きの組み合わせでは使用しないでください。



航空機のベルトでの固定のしかた

- ISOFIX ベースは使用できません。本製品のみ航空機の座席に取り付けます。
- お子さまの安全のため、他の乗員のため、航空機の設置ガイドおよび本書の指示に従って使用してください。
- 航空機の座席への取り付け方法は、自動車の座席への取り付けと方法が異なる事をご確認ください。
- 2点式(ラップベルト)ベルトでの取り付けは、航空機の座席でのみ可能です。自動車の座席では2点式ベルトによる取り付けはできません。
- 本製品を機内に持ち込む際は、お子さまが本製品に乗っていない場合でも航空機の座席に、本書で指示する方法で必ず固定しておかなければなりません。
- 本製品は、航空会社が許可、指定した座席でのみ使用することができます。搭乗前にあらかじめ航空会社に確認するようにしてください。
- エアバッグが装備されている場合、エアバックの展開領域内では本製品を使用することができません。

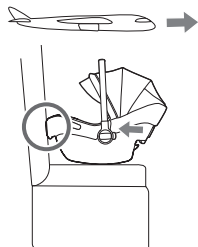


注意

01 航空機での使用時

航空機の進行方向に対して前向きの座席に、本製品を後ろ向きにします。

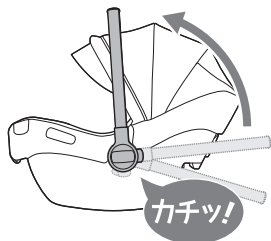
座席の中央に置いて、座席の背もたれに本製品の足元が当たるようにしてください。



02 航空機での使用時

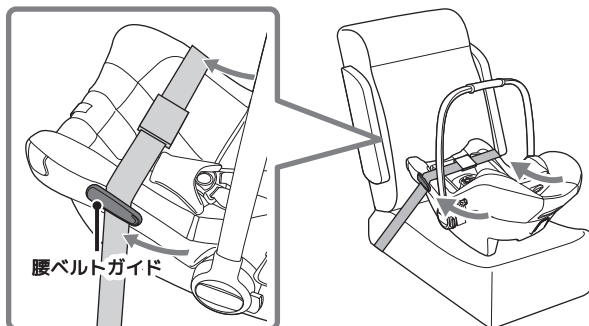
キャリーハンドルがキャリーポジション以外の場合には、キャリーポジションに切り替えて固定します。

参照 P49 > キャリーハンドル

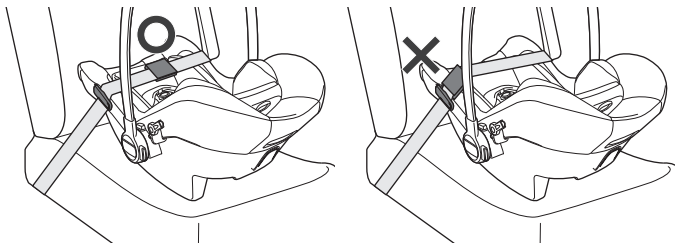


03 航空機での使用時

座席のベルトをねじらないように注意して、左右の腰ベルトガイドに通して、バックルを留めます。必ず左右両方の腰ベルトガイドを通してください。



⚠ 危険 座席のベルトバックルが腰ベルトガイドに干渉しないようにすること。
ベルトバックルは、本製品の中央部あたりで固定してください。



04 飛行機での使用時

ベルトを引いて、きつく締めて、しっかりと固定してください。

航空機のベルトやバックルの取り扱いに関しては、備え付けの安全のしおりなどを参照するか、客室乗務員にご確認ください。

05 飛行機での使用時

取り外しは、逆の手順で行います。

航空機のベルトやバックルの取り扱いに関しては、備え付けの安全のしおりなどを参照するか、客室乗務員にご確認ください。

⚠ 危険 2点式（ラップベルト）ベルトでの取り付けは、航空機の座席でのみ可能です。
自動車の座席では、絶対に2点式ベルトで、または3点式シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを束ねて2点式状態にして取り付けてはいけません。

基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

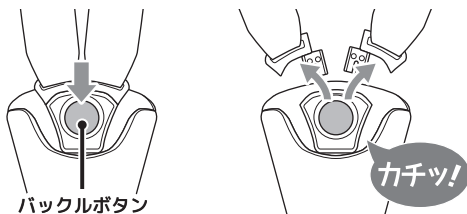
適切に使用すること。不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記
⚠ 危険 載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの
身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。
「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。

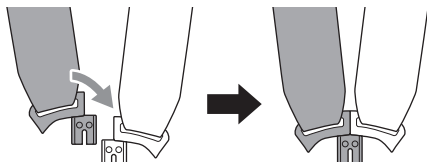


バックルの操作は固めです。バックルは、安全のため操作が固めになっています。
⚠ 注意 お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを
操作してください。

バックルの留めかた

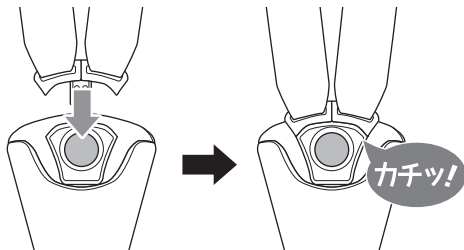
01

左の差込みタングと右の差込みタングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込みタングを受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。



バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。



バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまの身体をしっかりと固定できるよう、ハーネスの長さを調節します。

⚠危険

ハーネスの長さは、必ず適切に調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

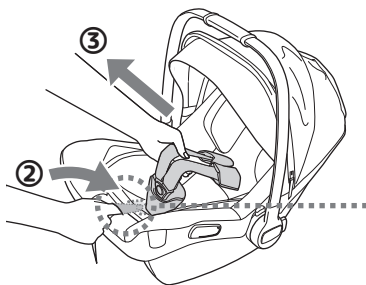
⚠注意

ハーネスは必ず左右同じ長さに調節してください。左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

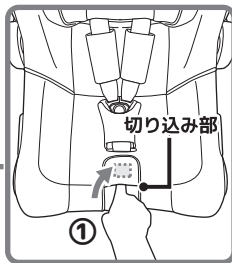
ゆるめかた

01

本製品の前端のアジャスターベルトの上側にある①切り込み部に指を差し入れて②ベルトアジャスター（外側からは見えません）を押し込みながら、③左右のハーネスを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。



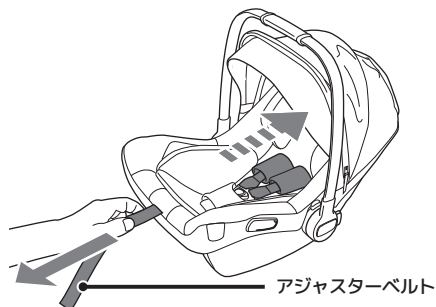
図はインファントインサートを取り外した状態です。



ベルトアジャスターは、切り込み部の中にあります。外側からは見えません。切り込み部の中に指を差し入れて、操作してください。

01

アジャスターベルトを手前に引くと、ハーネスが締まります。ゆっくり引いてください。



注意 お子さまを乗せた状態でハーネスを締める場合、アジャスターベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャスターベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

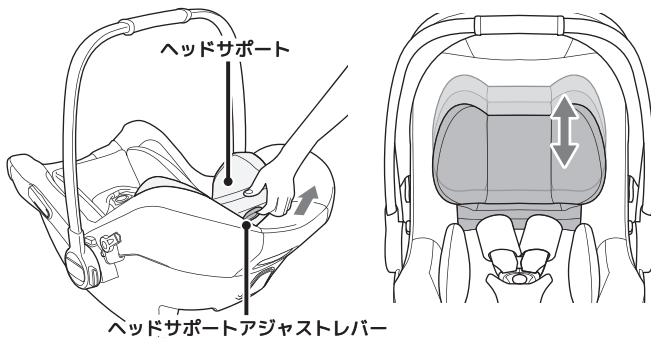
ハーネスの高さ調節

お子さまの成長に応じて、ハーネスの高さを調節します。安全のため、ハーネスはお子さまの身長に合わせて、常に適切な高さに調節してください。

参照 P77 > お子さまの乗せかた > 04

01

ヘッドサポートの裏側にある、ヘッドサポートアジャストレバー（リング）を引き上げて、ヘッドサポートを上下に調節します。7段階で高さが調節できます。



キャノピーを取り外すと操作がしやすくなります。

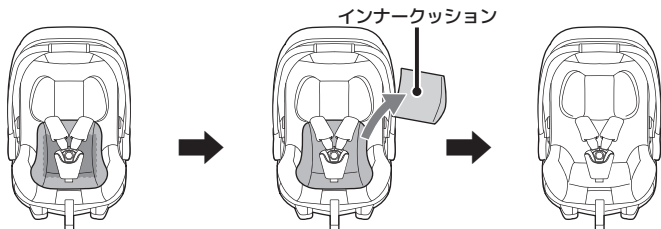
💡ポイント

参照 P53-54 > キャノピーの取り外し、取り付け

インファントインサート

インファントインサートは、側面からの衝撃に対する保護に効果があります。身長 60cm 程度まで、または、お子さまが窮屈な状態になるまでは、インファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。

ご購入時は、インファントインサートにインナークッションが取り付けられています。



身長 60cm 程度までのお子さまには、すべてのインファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。

お子さまが成長して、窮屈な状態になった場合、インファントインサートからインナークッションを取り外して使用することができます。

お子さまが成長して、肩が窮屈な状態になった場合、インファントインサートを取り外して使用してください。

取り外しかた

01

バックルを外しておきます。

♀ポイント

股ベルトパッドを取り外しておくと、操作がしやすくなります。股ベルトパッドは、操作後に、必ず取り付けなおしてください。

参照 P87 > カバー類の取り外し、取り付け > 股ベルトパッド

02

取り外すには、股ベルトパッド（受けバックル）から、インファントインサートを抜くようにします。操作は固めですので、注意して抜き取ってください。

03

股ベルトパッドを取り外した場合は、取り付けなおして、バックルを留めます。

04

取り付けは逆の手順で行います。

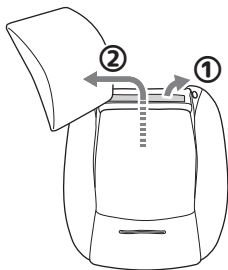
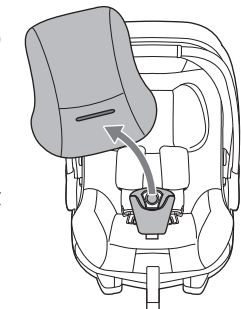
インナークッション

01

インファントインサートからインナークッションを取り外すには、中央部の面ファスナーを外し、インナークッションを引き出して取り外します。

02

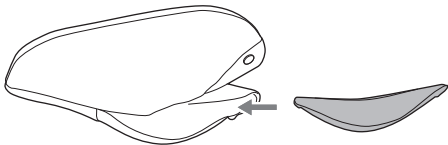
取り外したインナークッションは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。



インナークッションは洗えません。インファントインサートのお手入れの際にも、インナークッションを取り外します。

03

インナークッションの取り付けは逆の手順で行います。インナークッションは下図のような向きで、インファントインサートに取り付けてください。



キャリーハンドル

キャリーハンドルは3つのポジションで使うことができます。

①キャリーポジション

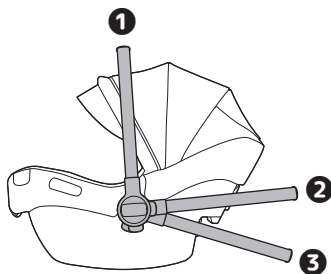
チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーカー用のシートとして使用する場合には、このポジションに設定してください。

②ロックングポジション

ロックングチェアのように、前後に揺らすことができます。
お子さまの様子を見て、使用してください。

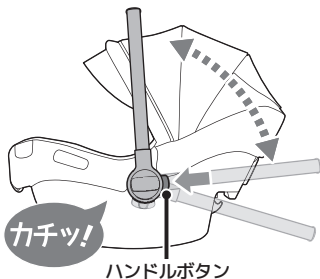
③チェアポジション

底面が安定して、ロックングしなくなります。



01

キャリーハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを両方同時に押しながら、②キャリーハンドルを動かし、任意のポジション（3つのポジションのいずれか）まで動かすと、カチッと音がしてキャリーハンドルが固定されます。目的のポジション以外で固定されてしまった場合、もう一度ハンドルボタンを押して作業をやり直してください。



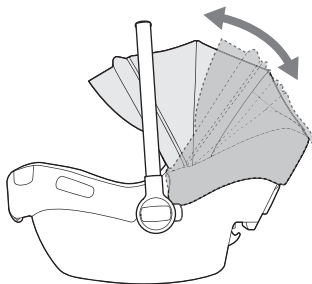
キャノピー

使いかた

キャノピーは、お子さまに日差しが直接あたらないようにするため開閉することができます。

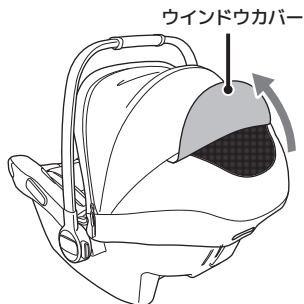
01

前後に動かして開閉します。お子さまの様子や日光の状態に応じて、調節して使用します。



02

キャノピー後部のウインドウカバーは開閉できます。日光の状態に応じて使用します。



エクストラキャノピー (Dream drape™)

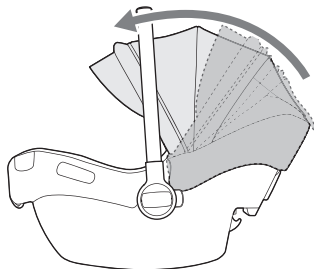
キャノピー先端部には、前方からの日光を遮るエクストラキャノピー (Dream drape™) が内蔵されています。

⚠ 注意

エクストラキャノピーの着脱のため、エクストラキャノピー先端部および本体先端部左右には、マグネット（磁石）が使用されています。一部の医療機器では影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

01

キャノピーを最後まで開ききります。

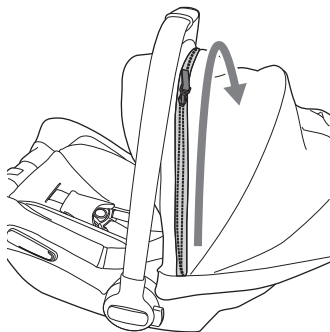


02

キャノピー前端のファスナーを最後まで開きます。

⚠ 注意

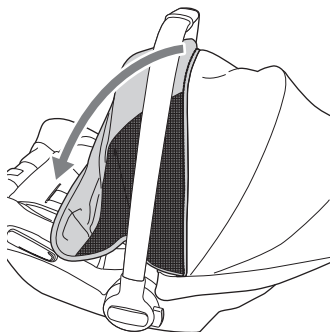
エクストラキャノピーを取り付けるマグネットが使用中に外れるおそれがありますので、ファスナーは最後までしっかりと開ききってください。



💡ポイント エクストラキャノピーは、ファスナーを開いた内側に収納されています。

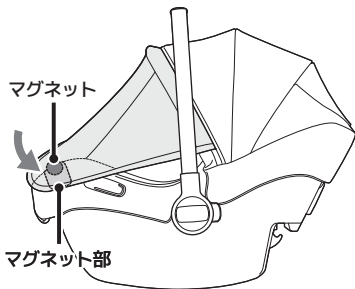
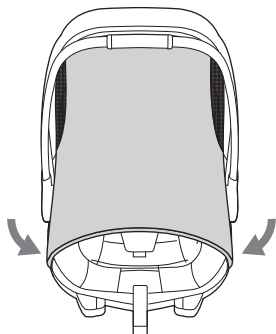
03

ファスナーの開口部から、エクストラキャノピーを引き出します。



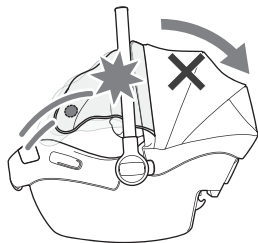
04

エクストラキャノピー先端左右のマグネットを、シート先端左右のマグネット部にしっかりと合わせて、エクストラキャノピーを留めます。



エクストラキャノピーのマグネットと、シート先端のマグネットはしっかりと合わせてください。

⚠️ 注意 エクストラキャノピーを使用中は、絶対にキャノピーを開かないでください。マグネットが外れてお子さまに当たり、ケガをする可能性があります。



05

エクストラキャノピーの取り外しは逆の手順で行います。エクストラキャノピーをファスナーの内側に入れ、ファスナーをしっかりと閉じてください。



キャノピーの取り外し、取り付け

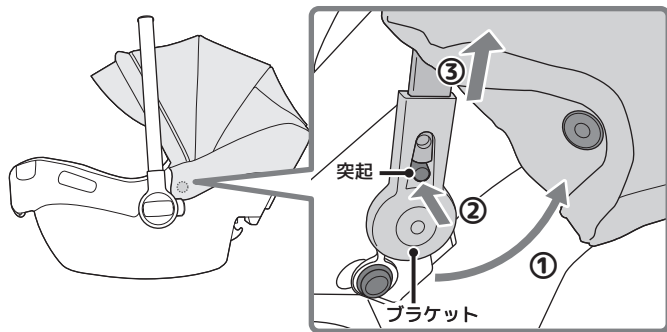
お手入れの際など、必要に応じてキャノピーを取り外すことができます。

01

エクストラキャノピーを使用している場合は、あらかじめエクストラキャノピーをキャノピー内に収納しておきます。

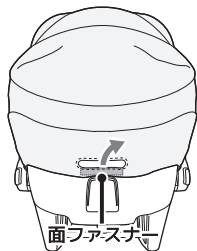
02

キャノピーを取り外す場合は、キャリアハンドルの根元部にある①ホックボタンを外してめくり、②キャノピーの根元のブラケットの突起（下図参照）を指で押し込んで、③キャノピーを上引き抜きます。左右とも同じようにしてください。



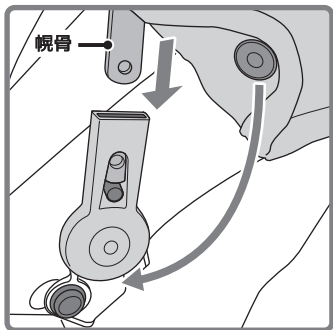
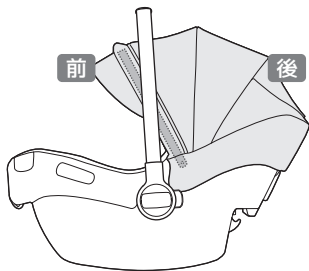
03

キャノピーの後部でシートカバーに留めている面ファスナーを外して、キャノピーを取り外します。



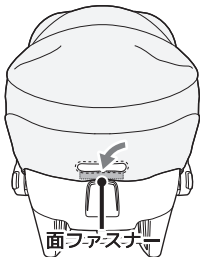
04

取り付けは逆の手順で行います。キャノピーの前後を間違わないように注意して、幌骨をブラケットに差し込み、ホックボタンを留めます。



05

キャノピー後部の面ファスナーを留めて、キャノピーを取り付けます。



ISOFIXベースシート（別売）による取り付け

本製品を「nuna PIPA next base」などの ISOFIX ベースシートに固定して、チャイルドシートとして使用する場合は、先に ISOFIX ベースシートを座席に固定した上に本製品を取り付け、固定して使用します。

⚠ 危険

本製品が安全に機能しないので、対応外の ISOFIX ベースシートに取り付けて使用してはいけません。当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他の ISOFIX ベースシートや3点式シートベルトで取り付けるベースシートを使用してはいけません。

※ P6-6 に本製品に対応する ISOFIX ベースシートの一覧が記載されています。

本取扱説明書とあわせて ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認すること。

ここでは、ISOFIX ベースシートの例として「nuna PIPA next base」を使用する場合の操作方法を記載しております。「nuna PIPA next base」の使用方法にも触れていますが、ここでは、基本的な操作部分のみの記載となります。また、ISOFIX ベースシートの種類によって、操作の内容および手順が異なる部分がありますので、**必ず、ISOFIX ベースシートの取扱説明書を確認してください。**

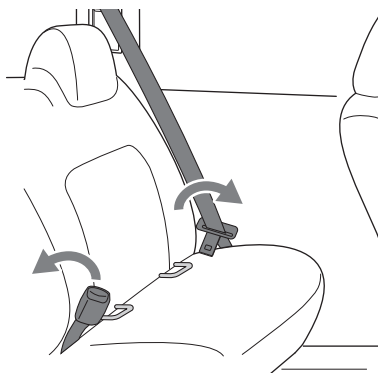
⚠ 注意

安全のため、ISOFIX ベースシートの取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

nuna PIPA next base（例）の取り付け

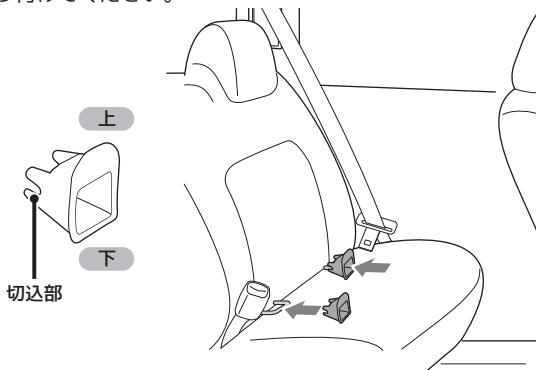
01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に「nuna PIPA next base」を乗せないようにしてください。



02

「nuna PIPA next base」に付属の ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。ISOFIX ガイドの切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地にキズがつく場合があります。あらかじめご了承ください。

💡ポイント

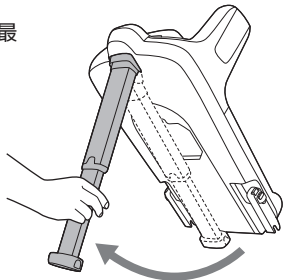
ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

03

「nuna PIPA next base」のサポートレッグを最後まで開きます。

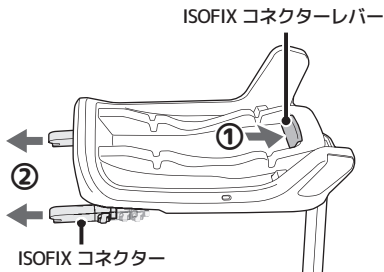
⚠ 注意

「nuna PIPA next base」のサポートレッグは完全には固定されていません。「nuna PIPA next base」を持ち上げるとサポートレッグが開き、先端部が下に引き出されることがありますので、ご注意ください。



04

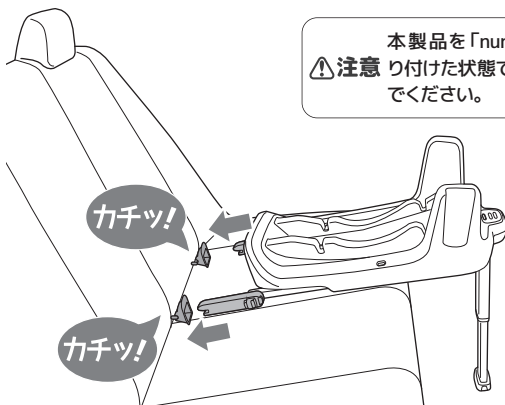
① ISOFIX コネクターレバーを引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。



05

「nuna PIPA next base」の前後を確認して座面に置き、左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。

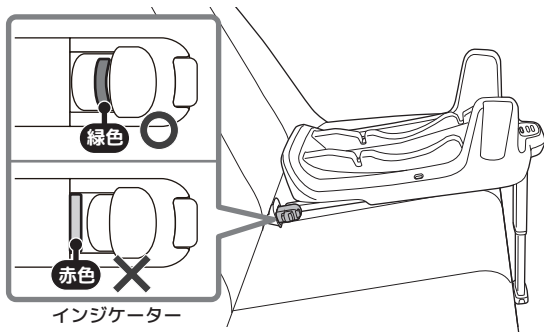
左右それぞれカチッと音がして座席の ISOFIX 固定バーに固定されるまでしっかりと差し込んでください。



06

下図を参照して「nuna PIPA next base」の ISOFIX コネクターのインジケータを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない（赤色のまま）場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



ISOFIX コネクターは確実に固定すること。ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、衝突や急制動の際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

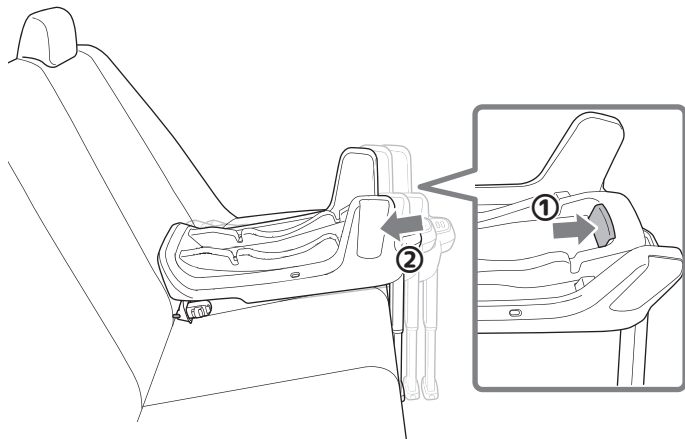


危険

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも赤色の場合、「nuna PIPA next base」は正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

07

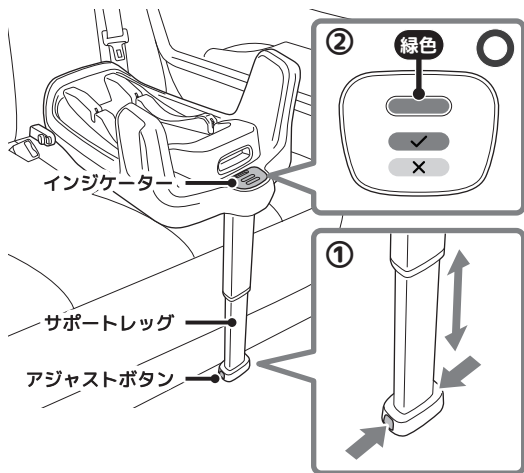
① ISOFIX コネクターレバーを引いて、②「nuna PIPA next base」を背もたれ側に押し付けます。



08

「nuna PIPA next base」の①アジャストボタンを左右からつまむようにして握り、サポートレッグの長さを調整します。サポートレッグの先端が、まっすぐ床面に接して、かつ、先端（サポートレッグ側）が座席の座面から浮き上がらないようにします。

②インジケーターが緑色になっていることを確認します。赤色の場合は、サポートレッグが正しく調整されていませんので、緑色になるまで調節しなおしてください。

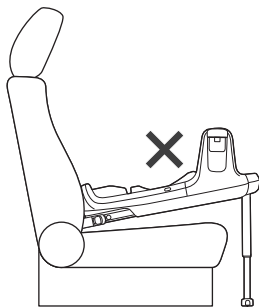
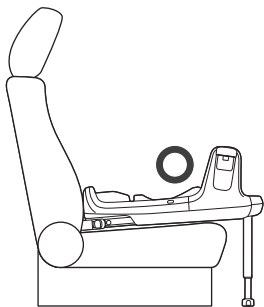


サポートレッグが完全に床面に接地するとインジケーターは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、インジケーターが緑色になるようにしてください。

⚠ 危険

サポートレッグの下や周囲に物を置かないでください。サポートレッグは、安全上、大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

「nuna PIPA next base」を極端に座席の座面から浮かせないようにしてください。
警告 い。サポートレッグを調節する際には、「nuna PIPA next base」の底面が座面に、サポートレッグが床面に、それぞれ接している状態にします。

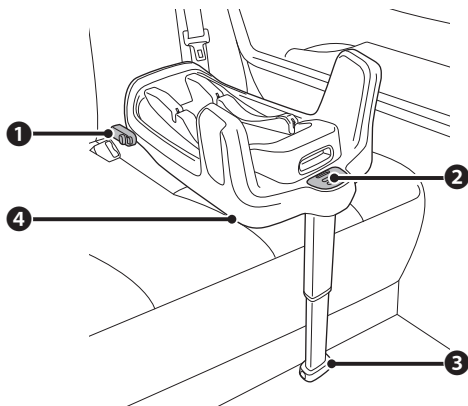


09

念のため、「nuna PIPA next base」を手前に引いて、ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

10

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

- ① 左右の ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定バーに固定され、ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ② サポートレッグのインジケーターが緑色になっていること。
- ③ サポートレッグが完全に開かれていて、サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。
- ④ 本製品の底面が座席の座面に接していること（極端に浮いていないこと）。



危険

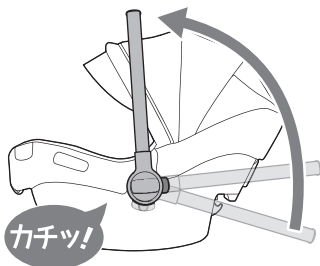
「nuna PIPA next base」は3点式シートベルトによる固定はできません。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、ISOFIX により「nuna PIPA next base」を正しく固定した上から、3点式シートベルトなどで、チャイルドシートをさらに固定しようとししないでください。

本製品の取り付け（例）

01

キャリーハンドルをキャリーポジションに切り替えておきます。

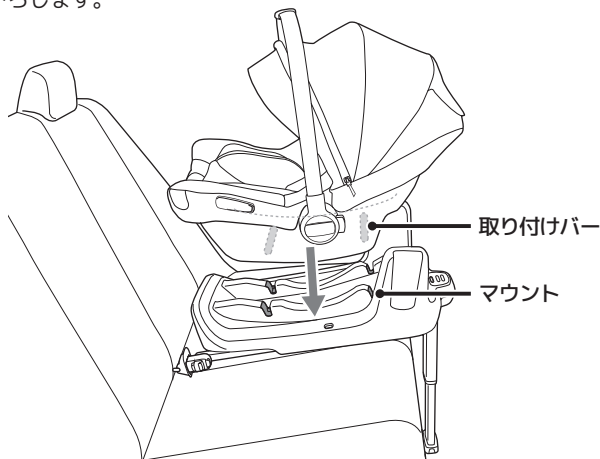
参照 P49 > キャリーハンドル



危険 本製品をチャイルドシートとして使用する場合は、キャリーハンドルは常にキャリーポジションにしてください。

02

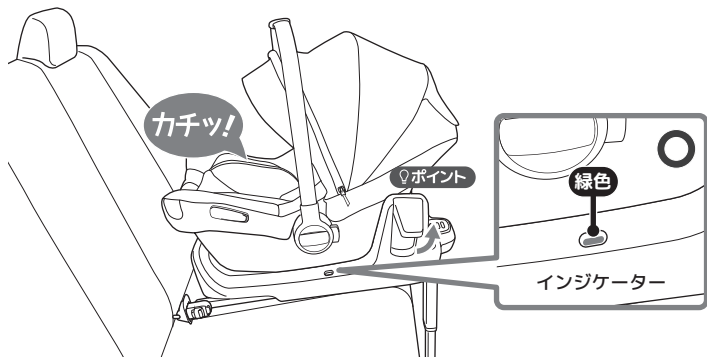
本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして、底面の前後にある取り付けバー（金属棒）と、「nuna PIPA next base」のマウントの位置を合わせて下ろします。



03

そのまま「nuna PIPA next base」に押し込み、カチッと音がして、本製品がしっかりと固定されたことを確認します。

「nuna PIPA next base」の左右にあるインジケーターが、両方とも緑色になっていることを確認してください。いずれか一方でも赤色の場合は、取り付けなおしてください。



04

念のため、キャリアハンドルを動かして、「nuna PIPA next base」から本製品が外れないことを確認してください。

本製品は、進行方向に対して後ろ向きでのみ使用できます。

ISOFIX で固定した上から、シートベルトや紐など、その他の方法で追加して本製品を固定しようとししないでください。これらによって固定が強化されることがないばかりか、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。



危険 当社が、「取り付け可能」と明示していない、ISOFIX ベースシートやその他のベースシートに本製品を取り付けてはいけません。

「nuna PIPA next base」(ISOFIX ベースシート) に確実に固定してください。本製品が確実に固定されていないと、衝突や急制動の際に、本製品が ISOFIX ベースシートから外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず、ISOFIX ベースシートのインジケーターなどを確認し、かつ、キャリアハンドルを動かして、本製品が外れないことを確認してください。

「nuna PIPA next base」には、本製品を取り付けると、自動的に展開するサイドインパクトシールドが左右に装備されています。座席の種類などによっては、サイドインパクトシールドが干渉する場合があります。この場合、「nuna PIPA next base」の取扱説明書の記載に従って、サイドインパクトシールドを閉じてください。

本製品の取り外し（例）

01

「nuna PIPA next base」の前端にある、リリースレバーを握って、本製品をゆっくりと持ち上げて取り外します。

お子さまを乗せた状態で、本製品を取り外す場合は、お子さまの様子を見て、慎重に操作してください。

取り外した本製品を車外に出します。

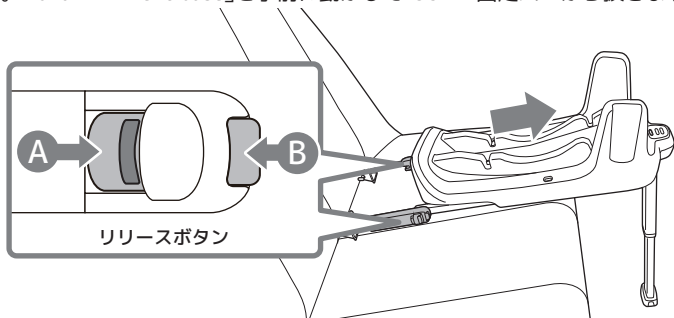


nuna PIPA next base（例）の取り外し

01

「nuna PIPA next base」の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定バーから取り外します。左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

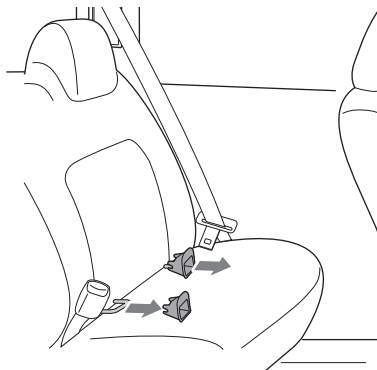
ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。下図のように A、B のリリースボタンを同時に押すと ISOFIX コネクターのロックが解除されます。「nuna PIPA next base」を手前に動かして ISOFIX 固定バーから抜きます。



⚠ポイント ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、本製品を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

02

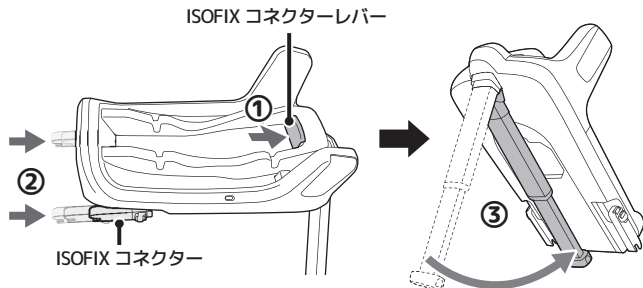
ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。



ISOFIX ガイドは取り外してください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

02

① ISOFIX コネクターレバーを引いて、② ISOFIX コネクターを「nuna PIPA next base」本体に収納して、③サポートレッグを折りたたんで閉じます。



警告 「nuna PIPA next base」、本製品とも、座席から取り外したら必ず車外に出しておいてください。これらを正しく固定せず、そのまま車内に置いておくと、衝突や急制動の際に移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

注意 「nuna PIPA next base」のサポートレッグは閉じた状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして本製品を持ち、車外に取り出します。サポートレッグが突然開いてケガをするおそれがありますので持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。

3点式シートベルトによる取り付け

本製品は、ISOFIX ベースシートを使用せず、単体で3点式シートベルト（3点式リトラクターシートベルト）で自動車の座席に取り付けることができます。この場合 ISOFIX は使用しません。

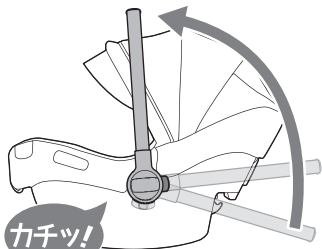
3点式シートベルトを装備したすべての座席に取り付けできるとは限りません。適合車種一覧において、取り付け可能とされている自動車の所定の座席に取り付けて使用することができます。

⚠危険 2点式シートベルト（ラップベルト）または、3点式シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを束ねて2点式にした状態で取り付けないでください。
本書の指示に従って、正しく取り付けてください。

01

キャリーハンドルをキャリーポジションに切り替えておきます。

参照 P49 > キャリーハンドル

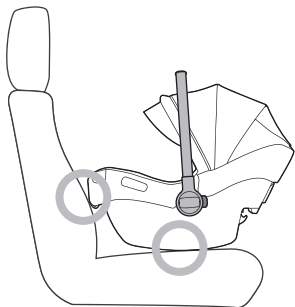


⚠危険 本製品をチャイルドシートとして使用する場合は、キャリーハンドルは常にキャリーポジションにしてください。

02

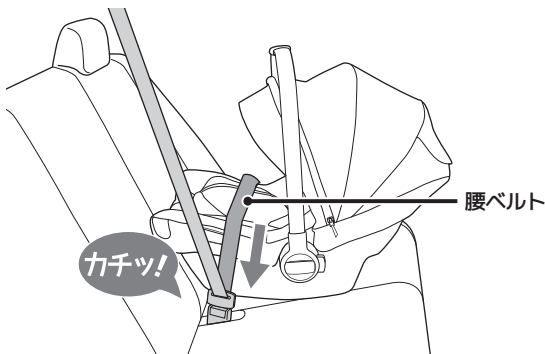
自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の底面が座席の座面に、前端が背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



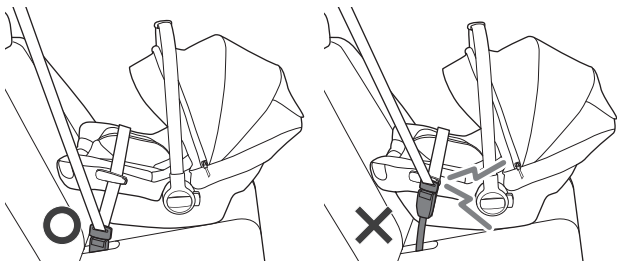
03

シートベルトを引き出し、ねじらないように注意して、シートベルトのバックルを留めます。腰ベルトが本製品の上を通るようにしてください。カチッと音がして、シートベルトがしっかりと留まっていることを確認します。



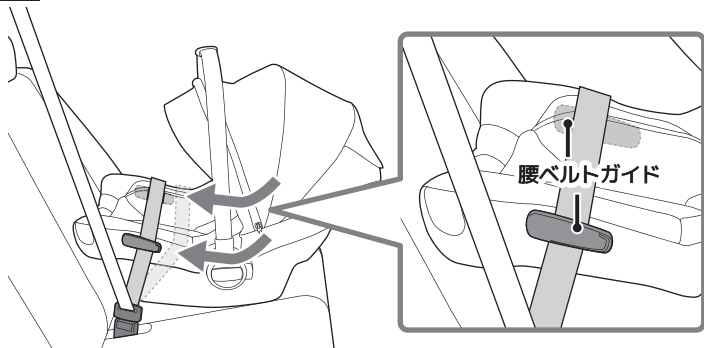
シートベルトがねじれていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。

⚠ 危険 バックル(バックルのベルト)が長すぎる座席には取り付けないでください。バックルのベルトが長すぎたり、バックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



04

腰ベルトをねじらないように注意しながら、左右の腰ベルトガイドに通します。キャリアハンドル側から滑り込ませるようにして、通してください。



⚠危険 腰ベルトは、必ず左右両方の腰ベルトガイドを通るようにしてください。腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。

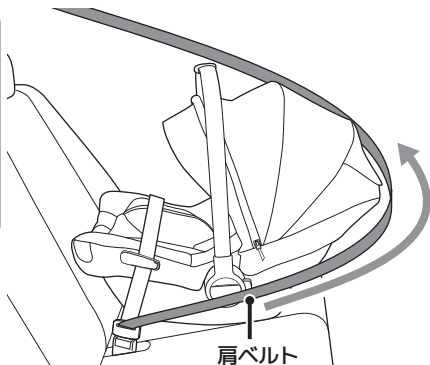
05

肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、本製品の後ろ側に回します。

♀ポイント

作業中、シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上、シートベルトを引き出すことができず、作業ができなくなります。

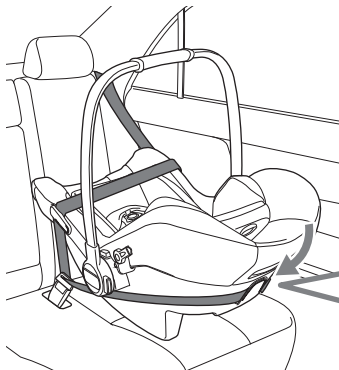
このような場合は、自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。



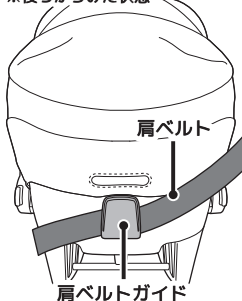
06

肩ベルトを後部の肩ベルトガイドに差し入れます。

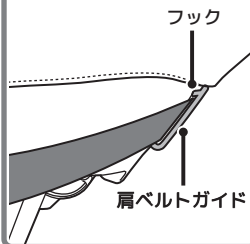
肩ベルトガイドのフックに掛かるように、しっかりと差し入れてください。



※後ろからみた状態



※真横からみた状態
(肩ベルトガイド)

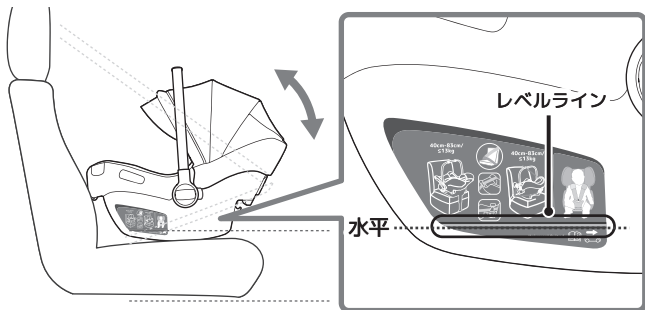


危険

肩ベルトは、図を参照して、正しい状態で肩ベルトガイドを通してください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。

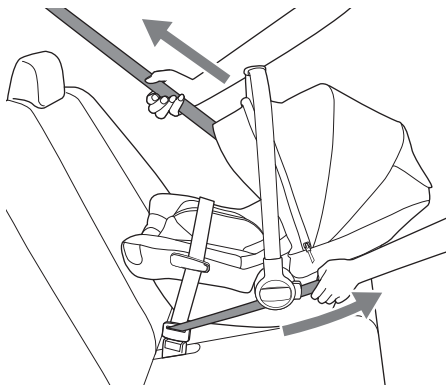
07

本製品の側面に貼られているレベルラインが、地面に対して水平になるように本製品の角度を調節してください。



08

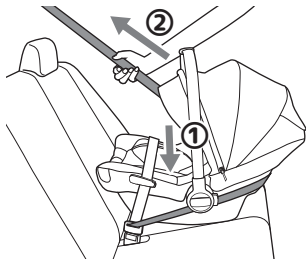
肩ベルトを、締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど、本製品はより強く固定されます。



注意 お子さまを乗せたまま、取り付け作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら作業してください。

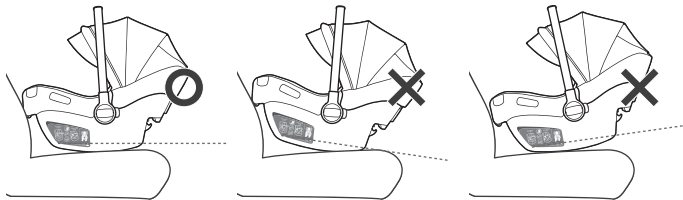
ポイント

お子さまが乗っていない場合、本製品の①座面部分を強く押し付けながら（シートベルトの腰ベルトは押さないでください）、②肩ベルトを強く引くと、より強く固定することができます。



09

もう一度、レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。角度がつきすぎている場合には、もう一度取り付けなおしてください。



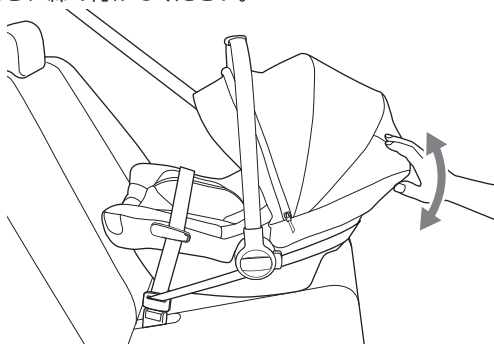
レベルラインが地面に対して水平になるように固定してください。角度がつきすぎていると、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。



警告

10

本製品を、前後左右に軽く動かしてみます。グラグラした感じがして、本製品が 3cm 以上動く場合、取り付けがゆるい状態ですので、シートベルトの肩ベルトをさらに締め付けてください。



♀ポイント

シートベルトを、きつく締め付けるほど、本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

また、使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。



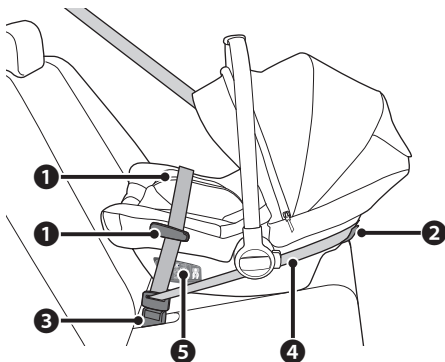
警告

本製品を取り付けた後で、座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かすと、取り付けがゆるむことがありますので、注意して操作してください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

また3点式シートベルトでの使用中には、適宜、正しい状態が維持されていることを確認してください。



チェックリスト

- ① シートベルトの腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ② シートベルトの肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ③ シートベルトのバックルが正しく、しっかりと留まっていること。
- ④ シートベルトにねじれがなく、ゆるんでいないこと。
- ⑤ レベルラインが、地面に対して水平になっていること。

12

取り外しは、逆の手順で行います。取り外した本製品は、お子さまが乗っていない場合でも、そのままにせず、車外に出すようにしてください。

お子さまの乗せかた

01

あらかじめハーネスを最後までゆるめて、バックルを外しておきます。

参照 P44 >ハーネスの長さ調節>ゆるめかた

02

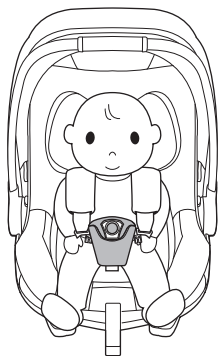
お子さまを楽な姿勢にして本製品に座させます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

ハーネスは、お子さまの前側に出しておいてください。



警告

肩ベルトパッドを取り外した状態では、絶対に使用しないでください。衝突や急制動の際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。ハーネス、股ベルトににねじれがないことを確認して、ハーネスをお子さまの肩の部分に通し、肩ベルトパッドがお子さまの肩の部分にあたるようにして、バックルをカチッと音がするようにしっかりと留めます。

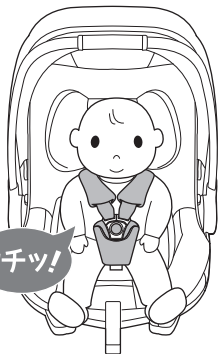


警告

ハーネスをねじらないように注意してください。ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ハーネス（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていないと、お子さまが落下したり、衝突や急制動の際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

カチッ!

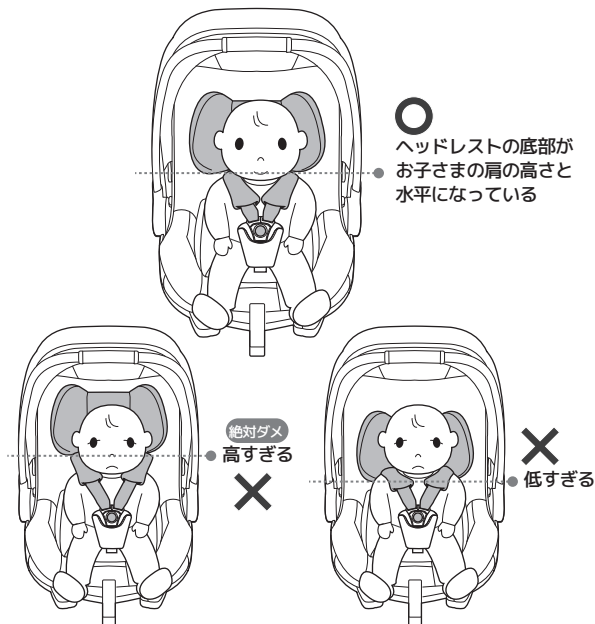


04

ハーネスの高さ調節を行って、適切な高さにします。

ハーネスの高さがお子さまの肩の高さと水平か、または水平に最も近くかつ肩よりも低い位置になっている状態が適切です。

参照 P46 >ハーネスの高さ調節



危険

ハーネスの高さは、必ず適切に調節してください。ハーネスが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまの抜け出しや、飛び出し、ハーネスが首に絡まる、過剰な衝撃が加わるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

特に、ハーネスの高さがお子さまの肩の高さよりも高い位置になっていると、お子さまが飛び出す危険性が高くなります。



ポイント

お子さまの姿勢が窮屈になった場合は、インファントインサートを調節してください。

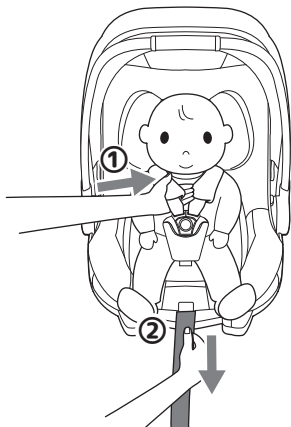
参照 P47-48 >インファントインサート

05

ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて、締めつけます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。

⚠危険

ハーネスが強く締めすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。



💡ポイント

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P44-45 > ハーネスの長さ調節

06

お子さまを降ろすには、バックルを外し、ゆっくりと降ろしてください。

その他の使いかた

本製品は、チャイルドシートとして使用する他、以下の用途で 사용할 ことができます。

いずれの使用方法でも、お子さまの乗せかたや、使用するにあたっての注意事項はチャイルドシートとして使用する場合と同様です。お子さまの身体は正しく調節されたハーネスでしっかりと固定してください。

ベビーキャリー

キャリーハンドルを、キャリーポジションにして使用します。

ロッキングチェア

キャリーハンドルを、ロッキングポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されず、前後に揺らすことができます。

インファントチェア

キャリーハンドルを、チェアポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されるので、お子さまを座らせる簡易な椅子として使用できます。

ベビーカー用のシート

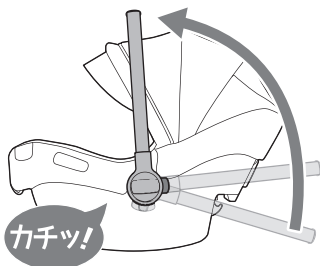
当社が指定するベビーカーのシートとして使用することができます。

ベビーキャリアとして使用する

01

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

参照 P49 > キャリアハンドル



02

各部を適切に調節して、お子さまを正しく本製品に乗せ、身体をしっかりとハーネスで固定しておきます。

キャリアハンドルがキャリアポジションでしっかりと固定されていることを確認し

警告 してください。

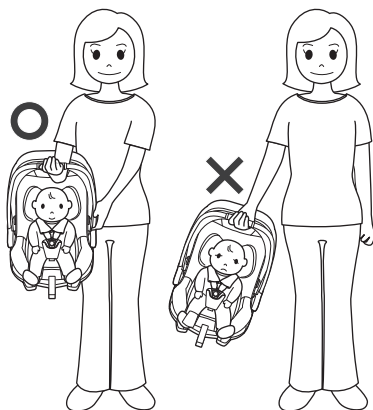
お子さまがハーネスを正しく装着していることを確認してください。

03

地面に対して水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、地面に対して水平に保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平に保つことが難しくなりますので、より注意するようにしてください。



お子さまが落下したり、ケガをするおそれがありますので、絶対に大きく振ったり揺すったりしないでください。

⚠ 警告

本製品が落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。高所、不安定な場所、危険のある場所に置かないでください。車の屋根の上に置く、ショッピングカートに乗せる、テーブルや椅子の上に置くなどしてはいけません。



本製品を持ち運ぶ際には、水平に保つようにして使用してください。

⚠ 注意

狭い通路や、急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では、他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

本製品を持って走らないでください。過剰な振動が加わると、お子さまに悪影響をおよぼすおそれがあり、最悪の場合にはお子さまが落下するおそれがあります。

03

地面に置くときは、平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

♀ポイント

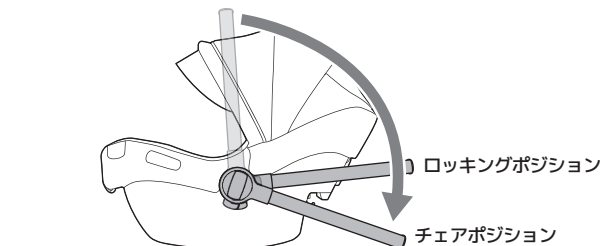
キャリーハンドルが、キャリーポジションの場合、本製品の底面は安定せず、ロッキングポジションと同様の状態になります。必要に応じて、キャリーハンドルをチェアポジションに切り替えてください。

ロッキング・チェアとして使用する

01

キャリーハンドルを切り替えて使用します。

ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジションに、簡易椅子として使用する場合にはチェアポジションに切り替えます。



参照 P49 >キャリーハンドル

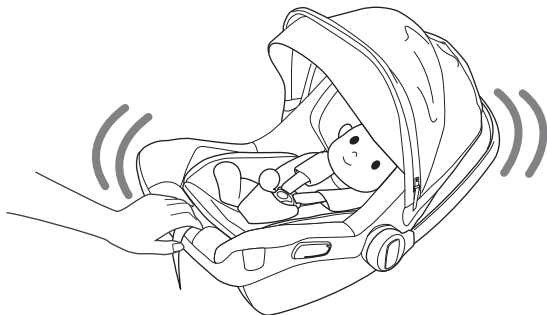
💡ポイント

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。

チェアポジションでは、本製品底面が前後の揺れを止めて安定しますので簡易椅子として使用することができます。

02

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



ブースターチェア（大人用の椅子の上に乗せて使用する）としては使用できません。本製品が落下して重大な事故につながるおそれがあります。

不安定な場所、高所では使用しないでください。本製品が落下したり、挟まったりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

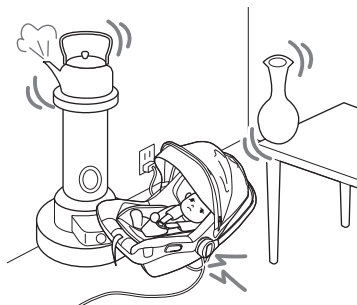
大人の方の監視の元で使用してください。使用中は、お子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

本製品は、就寝用のベッドとしての使用には適しません。お子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

ロッキングチェアとして使用する場合、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合などに強く揺らしても効果はまったくなく、お子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。



重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具やコンセント、ドア、窓、階段の近くや落下すると危険な物の近くに本製品を置いて使用しないでください。また、お子さまに、暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。



お子さまの健康のため、長時間にわたる連続使用は避けてください。特に、ロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様、お子さまの気分が悪くなるおそれがあります。また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後や食事直後の使用は避けてください。使用中は、常に大人の方が付き添い、お子さまの様子を確認するようにしてください。

ベビーカー用のシートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けて、ベビーカー用のシートとして使用することができます。

使用方法については、ベビーカーの取扱説明書をご参照ください。



当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他のベビーカーに取り付けて使用してはいけません。対応外のベビーカーに取り付けると本製品が落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

当社のベビーカーでもすべて対応するとは限りませんので、あらかじめご確認ください。

ベビーカーに本製品を取り付けても、ベビーカーの乗員数は変わりません。

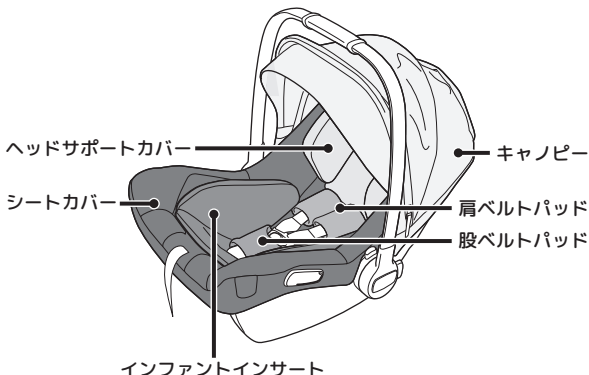
ベビーカーを正しく使用してください。本書とあわせて、必ず、ベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。

※キャノピーは、取り外した状態でも使用することができます。



シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを外して使用しないこと。インファントインサートは、お子さまの成長に応じて取り付け、取り外します。チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドは、安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されている、ウレタンなどの衝撃吸収材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

キャノピー

「キャノピー」の「使いかた」を参照してキャノピーを取り外します。
キャノピーを取り外さないと、シートカバーの取り外しはできません。

参照 P53-54 >キャノピーの取り外し、取り付け

インファントインサート

「インファントインサート」の「取り外しかた」を参照してインファントインサートを取り外します。

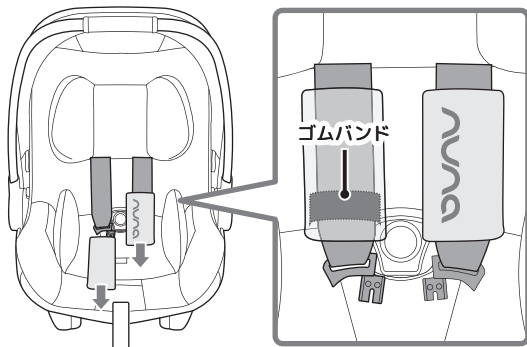
インファントインサートに取り付けられているインナークッションはお手入れできませんので、お手入れの際には取り外してください。

参照 P47-48 >インファントインサート

肩ベルトパッド

01

バックルを外し、肩ベルトパッドの内側にあるゴムバンドからハーネス、差込みタングを抜いて肩ベルトパッドを取り外します。



02

取り付ける場合は、逆の手順で行います。肩ベルトパッドの向きは、ご購入時には右図の状態で行われていますので、ご参考ください。

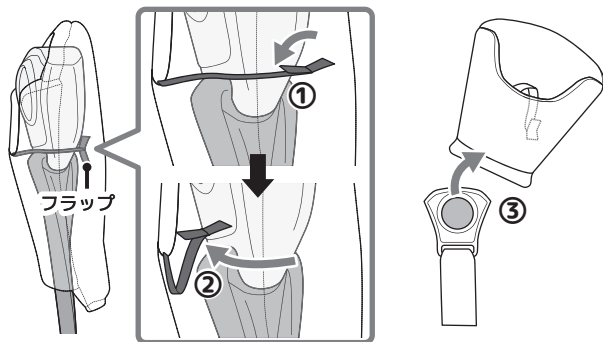
肩ベルトパッドを取り外した状態では、絶対に使用しないでください。衝突や
⚠ 警告 急制動の際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

股ベルトパッド

01

股ベルトパッドは、股ベルトパッドに縫い付けであるフラップ（ベルト）で受けバックル（股ベルト）に固定されています。

①受けバックル裏側にあるフラップをベルトと水平にして、②フラップを、受けバックルと股ベルトの隙間から抜き取ります。フラップ（ベルト）と受けバックルの固定部はきつめになっていますので、抜き取り、取り付け操作の際はご注意ください。③股ベルトパッドを抜き取ります。



💡ポイント

取り付けは逆の手順で行いますが、フラップを受けバックルに差し込む操作はきつめになっていますので、爪や指に注意して操作してください。

02

取り付ける場合は、逆の手順で行います。

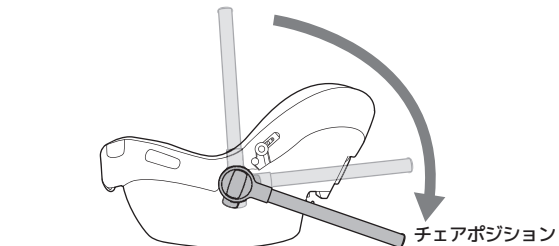
シートカバー

01

あらかじめ、キャノピー、インファントインサート、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外しておきます。

02

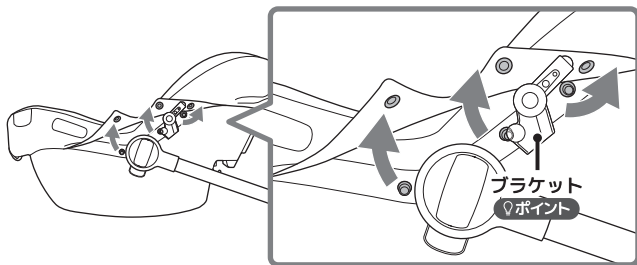
キャリアハンドルを、チェアポジションに切り替えます。



参照 P49 > キャリーハンドル

03

側面で本体に留めてある、シートカバーの左右それぞれ3カ所のホックボタン（合計6カ所）を外します。



💡ポイント

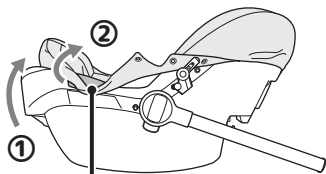
キャノピーのブラケット部の下にあるホックボタンは、ブラケットに重なっていますので、取り外しにくくなっています。注意して操作してください。

04

①シートカバーを前端からめくり、②シートカバーの通し穴から左右の腰ベルトガイドを抜きます。左右とも抜いてください。

♀ポイント

取り付け時は、先端部を被せる前に、通し穴に腰ベルトガイドを通してください。通し穴を腰ベルトガイドに通す際には、本体後方（背もたれ側）から通すようにします。



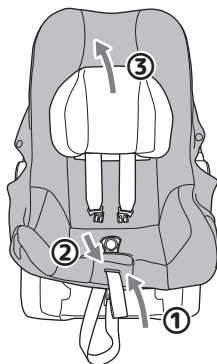
腰ベルトガイド

05

①アジャスターベルト、②受けバックル、③ヘッドサポート（ハーネス）を、それぞれシートカバーから抜いて、シートカバーを取り外します。

⚠注意

本体のウレタンなどの衝撃吸収材にキズを付けないように注意して操作してください。ウレタンなどの衝撃吸収材は取り外すことができません。

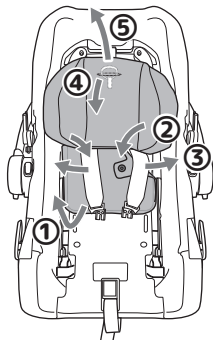


06

①ヘッドサポート下部でプレートに被せてある、ヘッドサポートカバーをめくって外し、①ヘッドサポート中央部左右に留めてあるホックボタンを左右とも外して、③左右のハーネスをそれぞれ外側に出します。④背面のヘッドサポートアジャストレバーを通し穴から抜き、⑤ヘッドサポートカバーを外してヘッドレストから取り外します。

07

取り付ける場合は、逆の手順で行います。



お手入れの方法

カバー類

以下のカバー類は、洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

・シートカバー

・インファントインサート

※インナークッションは取り外してください。インナークッションは洗濯できません。

・肩ベルトパッド

・股ベルトパッド

- 液温 30℃以下の水で洗濯機で通常の洗濯が可能です。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落としてください。
- 軽く絞って、形を整えて陰干ししてください。
- よく乾かしてから取り付けしてください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。

- ・漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥処理はできません。
- ・日陰でつり干し乾燥してください。

- ⚠注意**
- ・アイロンは使用しないでください。
 - ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
 - ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
 - ・きつく絞らないでください。

キャノピー・インナークッション

インファントインサートから取り外したインナークッション、キャノピーは洗濯することができません。変形、変質するおそれがありますので、水に浸さず、ブラシで汚れを落とすか、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

本体

樹脂部分は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠ 危険

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

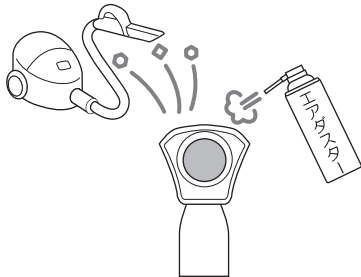
ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃吸収材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ハーネス・ベルト類・受けバックル・差込みタング

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。本体に取り付けたままお手入れしてください。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類は使用しないでください。

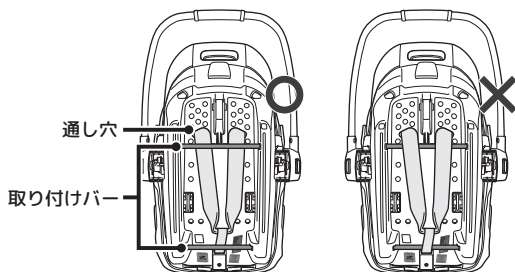
受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



ハーネスの取り扱いに関する注意事項

ハーネスを、本体の裏側から抜かないでください。ご使用、調節、お手入れに際しても、ハーネスを抜く必要はありません。

ハーネスが抜けてしまった場合は、下図のように取り付けバーの下側を通して、左右を間違わないよう注意して、ハーネスの通し穴に戻してください。



ISOFIX ベースシートのお手入れ

ISOFIX ベースシートの取扱説明書を参照して、正しくお手入れしてください。

保管のしかた

長期間使用しない場合、本製品は自動車の座席から取り外してください。

長期間使用しない場合、ISOFIX ベースシートに取り付けた状態では保管しないでください。

ISOFIX ベースシートも同様に、長期間使用しない場合は、自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を乗せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna pipa next ^N (ヌナピパネクストN) Next system 対応		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名 住所 電話番号
	お名前 電話番号 - -		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトーजी お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(nuna日本総代理店)

株式会社カトーजी 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください



Find out more at **nunababy.com**